

第3学年〇組 英語科学習指導案

令和3年〇月〇日 〇曜日 第〇時（英語教室）

指導者 〇 〇 〇 〇

1 単 元 Unit 1 Sports for Everyone

2 単元の目標

- (1) 現在完了形や「make+（代）名詞+形容詞」の文、「SVOO（that）節」の文の形・意味・用法を理解することができる。そしてその理解を基に、相手の伝えたいことを理解したり、自分の伝えたいことを表現したりする技能を身に付けることができる。
- (2) 簡単な語句や文を用いて、自分のことを伝えたり、相手のことを知るために尋ねたり、相手からの質問に答えたりすることができる。また、教科書本文の概要を捉えたり、簡単な語句や文を用いて話したりすることができる。
- (3) 現在完了形や「make+（代）名詞+形容詞」の文、「SVOO（that）節」の文を用いて、積極的に自分の経験や気持ちについて話したり、尋ねたりしようとする。また、障がい者スポーツについて書かれた文章の概要を捉えたり、人の気持ちの変化について簡単な語句や文を用いて伝えたりしようとする。

3 学習の計画 （10時間完了）

- 第1時（本時） 現在完了形の経験用法の形・意味・用法を知り、練習する。
- 第2時 現在完了形の疑問文の形・意味・用法を知り、練習する。
- 第3時 現在完了形の経験用法を用いたコミュニケーション活動に取り組む。
- 第4時 「make+（代）名詞+形容詞」の用法を学習し、車いすテニスの選手に関する説明文の内容を読み取る。
- 第5時 「SVOO（that）節」の用法を学習する。
- 第6時 障がい者スポーツを支える技術の進歩について書かれた記事を読んで、その内容を読み取る。
- 第7時 外国人のメッセージを聞いて、彼らをどこへ案内するかを考え、伝える活動に取り組む。
- 第8時 気持ちを伝えるファンレターの書き方を学習する。
- 第9時 必要な情報をまとめて自分の意見を書く方法を学習する。
- 第10時 学習事項をまとめ、単元テストに取り組む。

4 本時の学習指導

- (1) 目 標
 - 現在完了形の経験用法を用いて、対話をすることができる。
- (2) 準備・資料
 - 教 師……電子黒板、タブレット
- (3) 関 連

2年 英語 Unit 5 Universal Design（ユニバーサルデザインの意義について考える）
- (4) 学習過程

段 階	学 習 活 動	時 間	指 導 上 の 留 意 事 項
導 入	1 挨拶をする。 2 One Minute Chatを行う。 (1) 「昨日したこと」を伝え合う。 (2) 別のペアに聞いた情報を伝える。 3 単元の学習課題を把握する。 ○Unit1の表紙で質疑応答をする。 4 本時の学習課題をつかむ。 ○Previewを開き、分かったことをペアで伝え合う。		○ペア同士の会話が続く表現を提供する。 ○ペアから聞いたことを別のペアに伝えることで聞く意識を高めさせる。 ○学習する内容について関心をもたせる。 ○ペアで伝え、確認し合うことで現在完了形（経験）の用法に気付かせる。

	経験のあること・ないことについて英語を使って、表現しよう。	10	
言語材料の理解・練習	<p>5 基本表現の学習をする。</p> <p>(1) 現在完了形（経験）の形・意味・用法を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> スクリーンの画像を見て発声する。 ・ I have played tennis many times. ・ I have never tried sky diving. <p>(2) 過去進行形の口頭練習を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> Practiceを使って口頭練習をする。 	20	<ul style="list-style-type: none"> 視覚教材を用いて「経験の有無」の導入をすることで生徒の関心を高める。 テンポよく画像を出し英文を言わせる。 主語が変わることでhaveからhasに変化することを理解させる。 回数を表す表現や否定文で使うneverを確認する。
言語材料の追究	<p>6 経験用法を使って、自分のことを表現する。</p> <p>(1) 自分の経験したことがあるもの、一度もしたことがないものを書く。</p> <p>(2) 自分の経験の有無をペアで伝え合う</p> <p>(3) 全体発表を行う。</p>	30	<ul style="list-style-type: none"> 書いた英文に回数を表す表現や否定文で使うneverを使うことができたかを確認させる。 <p>評 現在完了形を用いて、ペアで自分のことを伝え合うことができる。（観察）</p>
言語材料の活用	<p>7 本文の学習を知る。</p> <p>(1) 教師のオーラルイントロダクションを聞く。</p> <p>(2) 新出語句を確認する。</p> <p>(3) 音読練習を行う。</p> <p>(4) 内容を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ジョシュの回答を確認する。 アンケートに答える。 ペアで回答を確認する。 全体発表をする。 	45	<ul style="list-style-type: none"> 視覚教材を用いて、話の内容を理解しやすくさせる。 電子黒板やタブレット等を用いて、テンポよく行う。 何度も音読することで、文の構造や内容を理解させる。 視覚教材を用いて、クイズ形式で確認する。
整理	<p>8 本時のまとめを行う。</p> <p>(1) 自己評価表を記入する。</p> <p>(2) 次時の予告を聞く。</p>	50	<ul style="list-style-type: none"> 本時の取組を振り返り、自己評価をさせる。 現在完了形の疑問文とその応答を学習することを伝える。

(5) 本時の評価規準

- 現在完了形を理解し、自分の経験について、相手に正確に伝えている。（観察）

5 備 考

(1) 学級の実態

- 本学級では、ペアでの対話活動に主体的に取り組むことができる生徒が多い。しかし、新しく学習した表現を用いて自分の考えや思いを伝える活動には苦手意識をもつ生徒もいる。

(2) 指導の力点

- 現在完了形の経験用法を何度も繰り返し使うことで、新出文法への不安を軽減し、自信をもって発表できるようにさせたい。

6 指導と評価